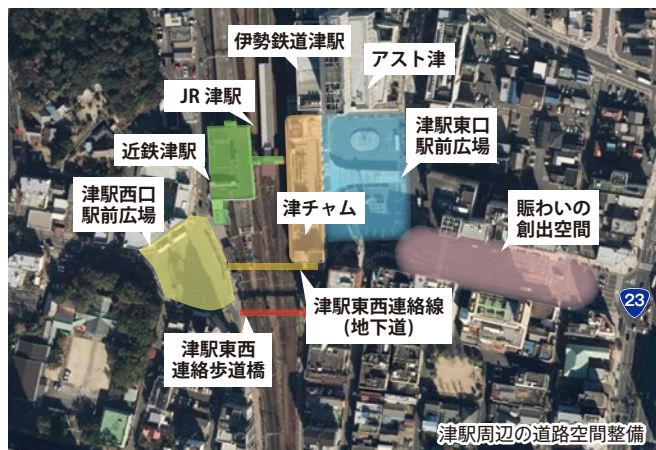


津駅周辺

明治24(1891)年に初代駅舎が竣工し、昭和48(1973)年に現在の駅舎が竣工してから半世紀が経過した今、新たな歴史を刻もうとしています。**官民が連携して基盤を整備する調査**を始めます。**津駅西口**は、津駅西口駅前広場エリアマネジメント会議での議論を進めながら、早急に**新たな西口広場の姿**を示してまいります。**東西自由通路**については、**事業イメージ**を明らかにしてまいります。

津駅東口は、国のバスタプロジェクトの中で交通拠点における機能強化の必要性等の調査が行われており、今後当該拠点の機能強化に関する具体的な整備方針の検討段階へと進むことが見込まれます。**バスタプロジェクトの早期実現**に向け、国や県との連携を密にし戦略的に取り組みを進めてまいります。



※この地図は、三重県市町総合事務組合のデジタル地図を使用しています。

大門・丸之内

「津市大門・丸之内地区未来ビジョン」に基づき、官民連携のエリアプラットフォーム「大門・丸之内 未来のまちづくり」が主体となって実験的な取り組みや情報発信等を行っています。令和6年度は、回遊促進に向けた**シェアサイクルの導入実験**や**公園空間における民間活力導入可能性調査**が行われます。津市も引き続き地権者の土地建物活用等に係る意向把握のための調査を実施しながら、さらに深く地域に入り込み、都市機能の充実、居心地の良い空間形成、エリア価値の向上に繋げてまいります。

豊かで便利な暮らしの実現に向けて

久居体育館、芸濃総合文化センター内アリーナ、安濃体育館および**一志体育館**に**空調設備**を整備します。気温が高くなる夏季でも安心してスポーツなどを楽しむことができるよう久居体育館および安濃体育館については工事を、芸濃総合文化センター内アリーナおよび一志体育館については実施設計を行います。市内唯一の陸上競技場である**海浜公園内陸上**

競技場は、陸上競技の大会や記録会が開催可能な第3種公認陸上競技場として、また競技人口が多いサッカーやラグビーなど多目的なスポーツが実施できるフィールドを備えた施設となるよう、整備に向けて測量、地質調査に着手します。



地域公共交通は、新たな仕組みを創設します。令和8年4月の津市コミュニティバスの次期再編に向けて、自由経路ミーティングポイント型と定路線型の運行を組み合わせたハイブリッド方式のデマンド型交通の構築を目指した実証実験を行います。

3 未来の安心

防災・減災対策等

大規模災害時に全国から派遣される緊急消防援助隊などの人命救助活動を担う**実動部隊が円滑に活動**できるよう、道路の被災状況に応じた一方通行などの交通規制や緊急車両を優先通行させる措置をどこでいつ講ずるのかを事前にさらに詳しく決めておく必要があります。関係機関の出席による検討会を開催するなど緻密な事前協議を積み重ね、迂回ルート等による**交通機能の確保**とともに、把握した被害状況等の情報を迅速に**実動部隊へ伝達する体制**を確立させてまいります。その上で受援に重点を置いた災害対策図上訓練や総合防災訓練を実施し、外部からの支援を円滑に受け入れ、その支援を最大限活用できる実践力を強化してまいります。

